

ブラジルからの研修生を迎えて！

～強靱な街づくりのための土砂災害構造物対策能力向上プロジェクト研修～

～六甲砂防事務所～

日本の土砂災害の特徴と対策、土石流構造物対策に関する技術指針、土石流構造物対策の技術開発等を学び、ブラジル国内における土石流対策事業の展開に寄与することを目的とし、ブラジル連邦共和国のプロジェクト研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。

午前中の講義では、六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組みを説明し、午後からは、砂防堰堤と森の世話人※活動地、施工中の斜面对策工事現場を案内しました。

概要	日 時：令和6年9月30日（月）9：00～14：30
	場 所：六甲砂防事務所／荒神山西砂防堰堤／森の世話人※活動地／祇園山斜面对策工事現場
	主 催：JICA
	参加者数：9名（統合・地域開発省、リオデジャネイロ州、サンパウロ州、サンタカタリーナ州）

※「森の世話人」とは

六甲山系グリーンベルト整備事業地において、森づくりを実施しようとするNPO、または市民団体、企業等をいいます。

詳細な活動内容については、右記QRコードを参照ください。



六甲砂防事務所事業概要説明



事業概要説明の質疑応答



事業概要説明や現地視察で、非常に多くの質問があり、日本の砂防技術について熱心に勉強されていました。



荒神山西砂防堰堤視察



祇園山斜面对策工事現場視察

【質疑応答】

Q：透過型堰堤と不透過型堰堤では透過型堰堤が基本となるのか？

A：上流側の粒径調査を行い決定します。細かい粒径しかなければ不透過型を採用することもある。基本的には透過型堰堤を採用していますが、現地の状況によって変わってきます。

Q：砂防堰堤に溜まった土砂を埋め立て地に流用しているのか？

A：今は大規模の埋め立て地の予定がないため、今後どう処理するかが課題となっています。現状では道路工事や河川堤防工事など流用先の調整を進めています。

Q：祇園山の斜面对策工事を行っている理由は、過去に法面崩壊があったから？

A：過去の崩壊はありませんが、地形的に危険な箇所を対象に、優先順位をつけて事業を行っています。祇園山の斜面は優先順位が高いため対策工事を行っています。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

